

表-6.12.1.1(73) 洞窟の状況、利用状況及び事業との関係

洞窟番号	洞窟の状況	利用状況	事業との関係
①	ゴルフ場小林地内に開口する縦穴状の約6mの自然洞。	利用は確認(糞も含め)されていない。	取得予定のゴルフ場内残地にあり、保全される
②	ゴルフ場北側にある横穴上の自然洞。洞口は縦穴。降雨時に水没。	H14年の調査でコキクが1頭確認された。糞は確認されていない。	事業実施区域内にあり、洞口は盛土により覆われることとなるが、洞窟は地下水の水みちであり、地下の空洞としては残存するため、これらの洞口から飛行場の外へボックスカルバートで結ぶ計画である。 取得予定のゴルフ場内残地にあり、保全される 事業実施区域内にあるため、消失する。
④	ゴルフ場北側にある約18mの自然洞。降雨時には水位、流量が増大する。	利用は確認(糞も含め)されていない。	
⑥	ゴルフ場南側にある約4mの横穴状の自然洞。		
⑦	南小林地にある約4mの人工洞。		
⑧	南小林地にある約2mの人工洞。		
⑨	A洞窟の上流側にある奥行き約5mの自然洞。	H14年の調査で糞が確認された。H17年の調査でコキクが1頭確認された。	取得予定のゴルフ場内残地にあり、保全される
⑩	ゴルフ場北側にある約30mの自然洞。	利用は確認(糞も含め)されていない。	事業実施区域外にあり、土地は私有地であるが、地形的条件から保全される。
⑪	約8mの自然洞で洞口が大きく、洞内には水が溜まり、農家がポンプでくみ上げている。		
⑫	轟川の北岸の崖に掘られた約11mの人工洞。	H14年の調査で8頭、H17年の調査で1頭、カグラが確認された。各調査年で糞も確認されている。	
⑬	カラ岳の南麓にある約12mの自然洞。洞内に水流がある。	小型コウモリ類は確認されていないが、H15の調査で糞が確認されている。	

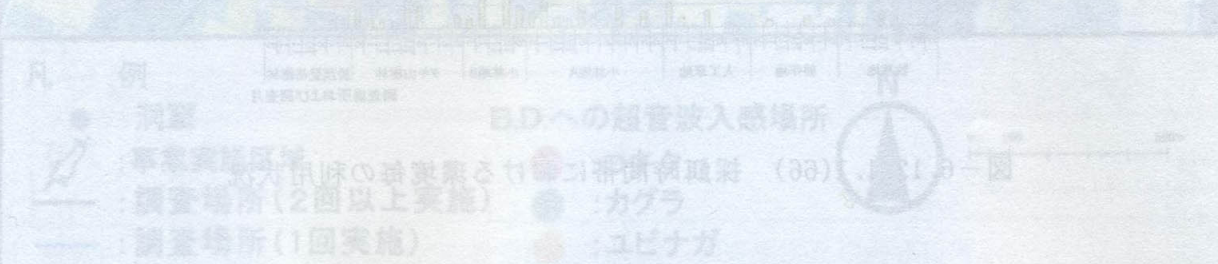


図-6.12.1.1(73) 調査毎の利用状況調査場所及び調査結果